

住民の会だより

第7号

リニアから自然と生活環境を守る沿線住民の会

代表世話人 熊谷清人 大坪勇 北林強

電話 090-1865-8868 (北林) 2024/4/10発行

※協力：国際環境NGO FoE Japan 本活動はパタゴニア環境助成金プログラム
の支援を受けて実施しています。

ヒ素、ほう素などの危険物を含む要対策土を 飯田市に持ち込まないよう市長に要請しました

2月28日の説明会でJR東海はヒ素・ホウ素などの重金属を含む要対策土を飯田市の橋脚に使用すると説明したことに対し住民の会は3月25日に飯田市長に要対策土などの危険物を飯田市に持ち込まないように要望書を提出しました。

たった1回のいい加減な説明で「了解が得られた」とは無茶な話し

JR東海はこの1回だけの地元説明会（参加者41人）で了解を得たとしています。多くの住民は当日になってこのことを知りました。しかし、このときの説明は重金属の危険性について誤解させるいい加減な説明でした。

重金属汚染はイタイタイ病、米の出荷停止など深刻な被害を与えてきた

「要対策土」とは自然由来のヒ素などの重金属を含み、汚染対策が必要とされる土壌です。「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」で特定有害物質に指定されている重金属は、銅、カドミウム、ヒ素の3元素です。これまでに、これら3元素が引き起こした土壌汚染の主なものは次のようです。

足尾銅山から流出した銅によって渡良瀬川流域の水田や畑の土壌が汚染されたいわゆる足尾鉍毒事件。神通川流域に発生したイタイタイ病の原因は、上流の神岡鉍山から神通川へ流出したカドミウムでした。その後、全国のいくつかの場所で、上流に鉍山がある川の流域において農用地のカドミウム汚染が問題となってきました。また、九州や山陰地方にある一部の鉍山から排出されたヒ素は、鉍山周辺の農地の土壌を汚染して水稻の生育に、また井戸水などを通じて人の健康に被害を及ぼしました。

ひとたび土壌が汚染されると、重金属を取り除くことは容易ではない

要対策土は、地下水や用水など環境に拡散しないよう厳重な、そして恒久的な管理が必要です。ひとたび汚染されれば重大な事態となります。このような危険物をリニア駅近く、農業用水の取り入れ口に持ってこようなどとはとんでもないことです。

飯田市は住民の健康と生活・環境を守る立場で対応を！

こうした危険物の持ち込みに対し、自治体は住民の健康・生活・環境を守る立場での対応が求められます。飯田市長からは4月15日（月）に回答頂ける事になりました。回答ありましたら皆さんに報告して行きたいと思えます。

飯田市長宛てに提出した要望書の概要

(裏面へ)

要対策土について

●土曾川橋梁に要対策土活用することについて、事前に飯田市にJR東海から申し入れがありましたか？ 飯田市は説明会以前に活用に同意していたのですか？ この経緯を説明下さい。

●説明会では大鹿村で発生した要対策土5000立法メートルを9月から運び込むことですが、昨年12月大鹿村のリニア対策協議会では小渋川変電所建設に使用するとJR東海は説明して来ましたが、村民から風評被害などへの懸念が出され、改めて説明会を実施するとのことでした。こうした疑念のある要対策土を飯田市として使用しないようにJR東海に要望すべきです。

●説明会でヒ素などの有害物質を基準値以下なら大量に摂取しても構わない、ヒ素濃度の高い温泉を通常でも使用しているから安全だとの説明でした。本来有害物質は基準値以下でも極力抑えて食するよう国の機関でも説明しています。有害物質を含む温泉は当然飲用ではありません。また温泉排水は処理は水質汚濁防止法により規制されています。

こうした社会的基準を無視した説明をしたことにJR東海に訂正、謝罪を求めるとともに、市としても謝罪及び説明を尽くして下さい。

●上記のようなJR東海の危険物に対する態度から、要対策土は1.5mのコンクリート壁で覆うから安全だと判断するのではなく、コンクリートも経年劣化します、今後地震等が発生します。飯田市として要対策土の持ち込みに反対して下さい。

リニアの工事は全線で大幅遅延 リニア駅前広場をどのように活用？

JR東海はリニアの27年開業の断念を表明、開業は2034年以降といわれます。静岡県知事の辞職表明で「一つの石がとれた」という声の一方で、計画を見直すべきという声も出始めました。静岡の遅れは、JR東海の事前の調査不足が原因です。

難工事が予想された、大鹿村内の南アルプストンネル工事。JR東海は、想定より悪い地質だとして長野工区の2026年11月の掘削完了を諦めました。小渋川橋梁は未契約、中央アルプストンネルも掘削の始まっていない工区が2つ。残土の処分先も5割が未定。都市部のトンネルはトラブル続き。実は沿線全体で工事は遅れています。ずさんな工事計画の結果です。リニアはいつになったら、いや本当に来るのでしょうか？

●リニア中央新幹線の開業が2027年以降になった現在、リニア駅前広場をどのように活用していくのですか？ 具体的に説明下さい。

トンネル工事では法的にも土地所有者の許可を得るべき

●昨年9～10月に風越山トンネル上部の家屋調査の希望を募りました。家屋調査希望者は何件ですか？対象地域の家屋数より調査希望家屋数が少ない場合、JR東海に追加家屋調査依頼をするべきではないですか？

●風越山トンネルの30mより深い部分については土地所有者の許可が必要にもかかわらずいまだにJR東海は土地所有者の許可を得てから工事を行うとは明言しておりません。こうした違法行為を飯田市として認めるのですか？ また、陥没事故等発生した場合どのように対応するのですか？

●風越トンネル上部には市道、公園等が存在します。市が管理する場所について、リニアトンネル工事の許可を与えているのですか？

リニアの騒音はひどい！ 騒音対策は？

●座光寺地域をはじめとするリニア中央新幹線周辺では走行騒音が予想されます。

飯田市として騒音対策にどのように取り組んでいますか？ また、JR東海にどのような騒音対策を要望しているのですか？

危険な残土置き場の候補地の取り下げを

●飯田市下久堅小林の残土置き場は直下に人家があります。龍江地区の清水沢中流の残土処分は下流域への影響が心配です。残土置き場の候補地の取り下げを求めます。